

(7)、比較のためPET未加工布(1)、diAC(4)、PP(5)の7種を用い、1/2型のえり布を各6枚用意し、左右異なる布を中心に接ぎ合わせ21組のえり布を作製。汚染および洗浄方法：被検者お茶の水女子大学生、着用期間S43.11.18~44.1.30。1サイクル着用3日——洗浄、延べ39日、洗浄は家庭用洗濯機、市販洗剤（スーパーザブ）でおこなった。測定：ヨゴレたえり布回収後と洗浄前反射率を測定し、ヨゴレ易さ、ヨゴレの落ち易さ、ヨゴレ残存率を求めた。また官能検査をおこない計器測定結果と比較した。人工ヨゴレは日立、ライオン法による人工汚垢を1%、3%の汚染液として用い、試料布に綿（金幅、ブロード）、P/C混PP加工（SR未加工）を加えた10種につき、ターゲットメーターで洗浄、乾燥後反射率を測定し再汚染率を求めた。

3. ヨゴレ易さ（着用後の試布の反射率）の比較では反射率が次第に上昇するもの(3)(4)(6)、ヨゴレの落ち易さ（洗浄後のえり布の反射率）ではやや上昇するもの(2)(4)(5)、ヨゴレ残存率では(2)(3)が低い。官能検査の結果は(4)(6)(5)が比較的ヨゴレ残存率が低いと判定された、人工ヨゴレによる再汚染率との比較では傾向として類似性が認められた。どの判定においてもSR加工布のうち(7)は未加工布(1)と大差なかった。

B-14 各種繊維のSR加工布のSR効果

山梨県立峡南高 ○渡辺喜久子
お茶の水女大家政 林 雅子
矢部 章彦

1. 各種繊維のSR加工エトリコット白生地につき、着用によるえり布のヨゴレ、再汚染性を検討した。併せて天然ヨゴレと人工ヨゴレの洗浄における相関性を得るため、人工ヨゴレによる再汚染試験も試みた。

2. 試料布：PET 100% 布にSR加工をほどこした試料Aを(2)、同じくBを(3)、同じくCを(6)、同じくDを